



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 グローリー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6457 URL <https://www.glory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三和 元純
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務本部長 (氏名) 藤川 幸博 TEL 079-297-3131
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 88,625 | △18.3 | 1,589 | △82.4 | 1,913 | △77.0 | △63 | — |
| 2020年3月期第2四半期 | 108,505 | △1.0 | 9,018 | 28.6 | 8,316 | 20.3 | 4,859 | 27.1 |

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △1,203百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 2,419百万円 (△69.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | △1.06 | — |
| 2020年3月期第2四半期 | 80.43 | — |

(参考) EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

2021年3月期第2四半期 8,908百万円 (△43.5%) 2020年3月期第2四半期 15,772百万円 (19.6%)

のれん償却前四半期純利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2021年3月期第2四半期 2,153百万円 (△68.2%) 2020年3月期第2四半期 6,762百万円 (20.3%)

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | 303,757 | 179,015 | 58.4 | 2,932.14 |
| 2020年3月期 | 308,763 | 187,143 | 60.0 | 3,064.61 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 177,252百万円 2020年3月期 185,196百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 32.00 | — | 34.00 | 66.00 |
| 2021年3月期 | — | 30.00 | — | — | — |
| 2021年3月期 (予想) | — | — | — | 30.00 | 60.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 210,000 | △6.3 | 8,000 | △55.4 | 8,000 | △48.9 | 3,500 | △60.9 | 57.90 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（2020年11月6日）公表いたしました「2021年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

（参考）EBITDA 2021年3月期 22,900百万円
のれん償却前当期純利益 2021年3月期 8,200百万円

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 1社（社名）Acrelec Group S.A.S.、除外 1社（社名）－

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期2Q | 63,638,210株 | 2020年3月期 | 63,638,210株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期2Q | 2,866,078株 | 2020年3月期 | 2,866,029株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年3月期2Q | 60,445,237株 | 2020年3月期2Q | 60,416,077株 |

（注）期末自己株式には、上記のほか、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式があります（2021年3月期第2四半期 320,598株、2020年3月期 341,500株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大恐慌以来ともいわれる景気停滞に見舞われています。欧米では、同感染症の再拡大が懸念されるなかでも、経済活動の再開が段階的に進められてきました。アジアでは、中国において引き続き景気は持ち直しているものの、全体としては先行き不透明な状況でありました。また、わが国経済におきましても、個人消費に回復の兆しが見られたものの、企業の設備投資に対する慎重な姿勢が一層鮮明になるなど、景気の先行きは予断を許さない状況でありました。

こうした状況のなか、当社グループは、2018年4月からの3ヶ年を計画期間とする『2020中期経営計画』の最終年度として、「持続可能な事業運営の基盤づくり」、「社会課題解決に向けた協働の取組み強化」、「成果に直結する生産性の向上と企業体質の強靱化」の3方針の下、事業展開を行ってまいりました。

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、海外市場においては、中国での事業活動は平常に近いレベルまで回復しましたが、欧米では、依然として事業活動に大きな制約を受けました。

国内市場においては、金融市場及び流通・交通市場では、商談の延伸やお客様のご意向により納品ができない状況が発生しました。また、遊技市場では、ホールの営業自粛解除により営業活動を再開しましたが、商談の延伸や設備投資抑制の影響により厳しい状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、88,625百万円（前年同期比 18.3%減）となりました。このうち、製品及び商品売上高は、53,875百万円（前年同期比 26.2%減）、保守売上高は、34,750百万円（前年同期比 2.1%減）でありました。利益につきましては、売上高の減少により営業利益は、1,589百万円（前年同期比 82.4%減）、経常利益は、1,913百万円（前年同期比 77.0%減）であり、法人税等を加減算した結果、親会社株主に帰属する四半期純損益は、63百万円の損失（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益 4,859百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(金融市場)

主要製品である「オープン出納システム」及び窓口用「紙幣硬貨入出金機」の販売は低調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、19,208百万円（前年同期比 14.0%減）、営業利益は、1,893百万円（前年同期比 8.5%減）となりました。

(流通・交通市場)

主要製品である「レジつり銭機」及び「券売機」の販売は低調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、20,933百万円（前年同期比 17.9%減）、営業利益は、1,164百万円（前年同期比 60.1%減）となりました。

(遊技市場)

主要製品である「カードシステム」及びホール向け「賞品保管機」などの販売は低調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、4,874百万円（前年同期比 53.8%減）、営業損益は、279百万円の損失（前年同期は営業利益 1,293百万円）となりました。

(海外市場)

米国・欧州では、新型コロナウイルス感染症拡大により営業活動に大きな制約を受け、金融市場向け「紙幣入出金機<RBGシリーズ>」及び流通市場向け「紙幣硬貨入出金機<CIシリーズ>」の販売が低調でありました。一方、アジアにおいては、「紙幣入金整理機<UWシリーズ>」の販売が堅調でありました。また、OEM製品であるATM用「紙幣入出金ユニット」の販売は前年同期並みでありました。

この結果、当セグメントの売上高は、42,409百万円（前年同期比 10.8%減）、営業利益は、9百万円（前年同期比 99.8%減）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間より、Acrelec Group S.A.S.及びその子会社の損益を連結の範囲に含めております。

その他の事業セグメントにつきましては、売上高は、1,199百万円（前年同期比 53.5%減）、営業損益は、1,197百万円の損失（前年同期は営業損失 1,309百万円）となりました。

上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を考慮し、2020年8月7日に公表した数値より変更しております。

なお、詳細につきましては、本日(2020年11月6日)公表いたしました「2021年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 71,532 | 49,540 |
| 受取手形及び売掛金 | 49,603 | 41,038 |
| 電子記録債権 | 1,617 | 594 |
| 有価証券 | 2,051 | 1,550 |
| 商品及び製品 | 31,053 | 39,812 |
| 仕掛品 | 7,989 | 8,437 |
| 原材料及び貯蔵品 | 12,639 | 13,860 |
| その他 | 5,577 | 7,910 |
| 貸倒引当金 | △656 | △983 |
| 流動資産合計 | 181,408 | 161,760 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 38,503 | 38,939 |
| 無形固定資産 | | |
| 顧客関係資産 | 17,968 | 17,913 |
| のれん | 43,246 | 54,981 |
| その他 | 6,699 | 7,417 |
| 無形固定資産合計 | 67,915 | 80,312 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,352 | 9,994 |
| その他 | 12,608 | 12,800 |
| 貸倒引当金 | △25 | △50 |
| 投資その他の資産合計 | 20,935 | 22,745 |
| 固定資産合計 | 127,354 | 141,996 |
| 資産合計 | 308,763 | 303,757 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,346 | 8,755 |
| 電子記録債務 | 7,154 | 6,322 |
| 短期借入金 | 24,931 | 20,916 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 20 | 20 |
| 未払法人税等 | 1,520 | 862 |
| 賞与引当金 | 7,088 | 6,060 |
| 役員賞与引当金 | 109 | 43 |
| 株式付与引当金 | 39 | — |
| その他 | 33,412 | 31,551 |
| 流動負債合計 | 85,623 | 74,533 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 20,000 | 20,000 |
| 長期借入金 | 46 | 7,022 |
| 株式付与引当金 | 260 | 247 |
| 退職給付に係る負債 | 3,243 | 3,285 |
| その他 | 12,445 | 19,653 |
| 固定負債合計 | 35,996 | 50,208 |
| 負債合計 | 121,620 | 124,741 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 12,892 | 12,892 |
| 資本剰余金 | 15,961 | 11,493 |
| 利益剰余金 | 163,070 | 160,940 |
| 自己株式 | △9,312 | △9,249 |
| 株主資本合計 | 182,611 | 176,076 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △455 | 80 |
| 為替換算調整勘定 | 5,194 | 3,070 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △2,154 | △1,975 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,584 | 1,175 |
| 非支配株主持分 | 1,946 | 1,763 |
| 純資産合計 | 187,143 | 179,015 |
| 負債純資産合計 | 308,763 | 303,757 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 108,505 | 88,625 |
| 売上原価 | 65,054 | 53,684 |
| 売上総利益 | 43,450 | 34,941 |
| 販売費及び一般管理費 | 34,432 | 33,351 |
| 営業利益 | 9,018 | 1,589 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 97 | 86 |
| 受取配当金 | 87 | 89 |
| 為替差益 | — | 88 |
| 補助金収入 | 6 | 269 |
| 投資事業組合運用益 | 88 | 138 |
| その他 | 129 | 191 |
| 営業外収益合計 | 409 | 864 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 395 | 271 |
| 為替差損 | 388 | — |
| 持分法による投資損失 | 156 | 165 |
| その他 | 171 | 104 |
| 営業外費用合計 | 1,110 | 541 |
| 経常利益 | 8,316 | 1,913 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 10 |
| 投資有価証券売却益 | — | 19 |
| 特別利益合計 | 0 | 30 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 14 | 7 |
| 投資有価証券評価損 | 116 | 71 |
| その他 | 0 | 0 |
| 特別損失合計 | 131 | 79 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 8,186 | 1,864 |
| 法人税等 | 2,715 | 1,651 |
| 四半期純利益 | 5,470 | 213 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 610 | 277 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 4,859 | △63 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 5,470 | 213 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △191 | 528 |
| 為替換算調整勘定 | △2,927 | △2,132 |
| 退職給付に係る調整額 | 68 | 179 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 0 | 7 |
| その他の包括利益合計 | △3,050 | △1,416 |
| 四半期包括利益 | 2,419 | △1,203 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,889 | △1,436 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 529 | 233 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社の連結子会社であるGlory Global Solutions (International) Ltd. は、Acrelec Group S.A.S. の非支配株主に対して、子会社株式の売建プット・オプションを付与しております。当該売建プット・オプションについては、その他の固定負債として認識するとともに、資本剰余金を減少させております。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が4,468百万円減少しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、Acrelec Group S.A.S. の発行済株式の80%を取得したことに伴い、同社の子会社を含む31社を連結の範囲に含め、2社を持分法適用の範囲に含めております。なお、Acrelec Group S.A.S. は、当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積り)

当社グループでは、前連結会計年度末時点では新型コロナウイルス感染症の拡大が上半期頃までに収束するとの仮定に基づき、たな卸資産の評価、投資の減損、のれんの減損等の会計上の見積りを行っていましたが、当第2四半期連結累計期間において、日本を含む全世界で収束時期が未だ不透明な状況にあることから、当連結会計年度末まで影響が続くものと仮定して、会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|-------------|--------|--------|---------|--------------|---------|-----|--------------------------------|
| | 金融市場 | 流通・交通 市場 | 遊技市場 | 海外市場 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 22,335 | 25,483 | 10,543 | 47,564 | 105,927 | 2,578 | 108,505 | — | 108,505 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 22,335 | 25,483 | 10,543 | 47,564 | 105,927 | 2,578 | 108,505 | — | 108,505 |
| セグメント損益 | 2,068 | 2,919 | 1,293 | 4,047 | 10,327 | △1,309 | 9,018 | — | 9,018 |

(注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|-------------|-------|--------|--------|--------------|--------|-----|--------------------------------|
| | 金融市場 | 流通・交通 市場 | 遊技市場 | 海外市場 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 19,208 | 20,933 | 4,874 | 42,409 | 87,425 | 1,199 | 88,625 | — | 88,625 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 19,208 | 20,933 | 4,874 | 42,409 | 87,425 | 1,199 | 88,625 | — | 88,625 |
| セグメント損益 | 1,893 | 1,164 | △279 | 9 | 2,787 | △1,197 | 1,589 | — | 1,589 |

(注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。